

課題の整理

2002年10月7日
佐野晋(JPNIC)

1. 解決するもの

- **S1:** 電話網(含むIP電話網)の番号解決手段として
- **S2:** 電話網からインターネット電話への番号解決手段として
- **S3:** インターネット電話から電話網への番号解決手段として
- **S4:** E.164 番号によるユーザとアプリケーションの識別手段として

ここでIP電話網とは、従来型の電話網をIP技術で実現したものをいう。
インターネット電話は、インターネット上での電話的サービスのこと。

ここで電話的サービスとは ベストエフォートによる音声通信サービス。

2. アプリケーション

- **A1:** 電話をアプリケーション
- **A2:** 電話以外のアプリケーション
- **A3:** 電話および電話以外以外のアプリケーション

電話以外のアプリケーション: ファックス, メール, …

3. ENUMの分類

- **E1:** オペレータENUM
- **E2:** ユーザENUM

オペレータENUM: ある事業者もしくは相互接続した複数の事業者がサービス提供のために使用する。登録は事業者。

ユーザENUM: エンドユーザが使用する。番号によって識別されたユーザ

が、その番号に対応するサービスを指示。登録はユーザ

4. 事業者、オペレータの概念

- **C1:** 従来型の電話サービスを行う電気通信事業者
- **C2:** 一般の事業者
- **C3:** 特定の番号領域を管理運用・利用するユーザ組織・企業
- **C4:** ENUMサービスをおこなう事業者

5. DNS名前空間の一意性

- **D1:** グローバル: DNSのルート配下のインターネット上で一意の名前空間
- **D2:** ローカル(プライベート): 独自の名前空間

6. 電話番号

- **N1:** E.164番号と対応づけ(ENUMサービス)
- **N2:** E.164番号とは別の対応づけ(ENUMライクサービス)

7. 想定するネットワーク構造

- **TYPE1:** 従来の電話の実現手段
- **TYPE2:** ISPのサービスの一部
- **TYPE3a:** インターネット+従来のインターネット
- **TYPE3b:** インターネット

8. 電話番号はだれのものか?

- **W1:** 電話番号は事業者がサービスを実現するための用いる
- **W2:** ユーザが自己へのサービスを識別するために用いる

★検討対象1 (従来電話に特化 & 保守的)

- **S1:** 電話網(含むIP電話網)の番号解決手段として
- **A1:** 電話をアプリケーション
- **E1:** オペレータENUM
- **C1:** 従来型の電話サービスを行う電気通信事業者
- **D2:** ローカル(プライベート): 独自の名前空間 (?)
- **N1:** E.164番号と対応づけ(ENUMサービス)
- **TYPE1:** 従来の電話の実現手段 または **TYPE2:** ISPのサービスの一部
- **W1:** 電話番号は事業者がサービスを実現するための用いる

★検討対象2 (インターネット電話的サービス)

- **S1:** 電話網(含むIP電話網)の番号解決手段として
- **S2:** 電話網からインターネット電話への番号解決手段として
- **S3:** インターネット電話から電話網への番号解決手段として
- **A1:** 電話をアプリケーション
- **E1:** オペレータENUM
- **C1:** 従来型の電話サービスを行う電気通信事業者
- **C2:** 一般の事業者
- **C3:** 特定の番号領域を管理運用・利用するユーザ組織・企業
- **D1:** グローバル: DNSのルート配下のインターネット上で一意の名前空間
- **N1:** E.164番号と対応づけ(ENUMサービス)
- **TYPE3a:** インターネット+従来のインターネット

★検討対象3 (非電話に特化)

- **S4:** E.164 番号によるユーザとアプリケーションの識別手段として
- **A2:** 電話以外のアプリケーション
- **E2:** ユーザENUM
- **N1:** E.164番号と対応づけ(ENUMサービス)
- **TYPE3b:** インターネット
- **W2:** ユーザが自己へのサービスを識別するために用いる

★検討対象4 (電話と非電話)

: